

## プログラム

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00026587">http://hdl.handle.net/10297/00026587</a>

## 情報学シンポジウム 2018 「スポーツと情報」 —情報科学技術によるスポーツの革新—

2018FIFA ワールドカップロシアで活躍したゴールラインテクノロジー、人工知能やビッグデータを用いたゲーム戦略、2018 アジア大会 2018 年インドネシアで公開競技ともなった e スポーツの勃興—いま、情報科学技術がスポーツを革新し、またスポーツが情報科学技術の需要を生み出し、その発展の駆動力ともなっている。そして、我が国は、2019 年にラグビー W 杯、そして 2020 年に東京五輪といった世紀のスポーツイベントを迎える。

本シンポジウムは、「スポーツと情報」をテーマに、学内外から情報科学、スポーツ科学を専門とする気鋭の研究者を招いて、スポーツと情報に関わる最新の知見を紹介し、会場とともに近未来のスポーツの発展、そして情報学の発展を展望する。

### 日時：

2018 年 12 月 22 日 (土)  
13:30～17:00 (開場 13:00)

### 場所：

静岡大学浜松キャンパス  
共通講義棟 3F 共 31 教室 (150 席, 講演)、1F 共 11 教室 (ポスターセッション)

### 受付：

入場無料 <予約不要>

### プログラム：

#### ▶13:30

<開会式>

開会のことば (近藤真・情報学部長)

<基調講演>

#### ▶13:35～14:05

- ① 稲見昌彦 (東京大学先端科学技術研究センター・教授, ERATO 稲見自在化身体プロジェクト・研究総括)

「超人スポーツ —テクノロジーでスポーツを共創する—」

#### ▶14:10～14:40

- ② 山本裕二 (名古屋大学総合保健体育科学センター・教授, 日本スポーツ心理学会・理事長)

「対人・集団スポーツを組織化する情報」

#### ▶14:45～15:45

<カフェ&ポスターセッション>

オーガナイザー：木谷 友哉 (情報学部情報科学科・准教授), 大木 哲史 (情報学部情報科学科・講師)

提供：株式会社たこ満 (<https://www.takoman.co.jp>)

株式会社 ANseeN (<http://anseen.com/>)

サイエンスカフェ in はままつ (<http://sci-cafe.eng.shizuoka.ac.jp>)

協力：静大情報学部 珈琲研究会 (<https://twitter.com/shizucafeken>)

<話題提供>

#### ▶15:50～16:05

- ① 竹内勇剛 (情報学部情報科学科・教授)

「スポーツにおける認知的なインタラクション」

▶16:10～16:25

- ② 遊橋裕泰 (情報学部行動情報学科・准教授)  
「情報学部学生によるスポーツ情報学の展開」

▶16:30～

<パネルディスカッション>

「情報学が変えるスポーツ、スポーツが変える情報学」

オーガナイザー：板口 典弘 (情報学部情報科学科・助教)

ゲストパネリスト：木村 聡貴 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所・主任研究員)  
土井 寛之 (株式会社 SPLYZA・代表取締役)

<開会式・ポスターセッション表彰式>

受賞者・演題

最優秀賞 & 稲見賞：

佐藤佑哉，前田哲徳 (情報科学科)，黒柳貴慶，光松凌平 (情報社会学科)  
Influenced Reality の提唱 — 仮想のボールは現実のボールを動かせるか—

優秀賞：

超人スポーツと e-Sports の 10 年後の発展  
鈴木雄大，伊藤晴菜 (情報社会学科)，川口冬威，加藤駿弥，望月康太郎 (情報科学科)

山本裕二賞：

金長幸希 (情報学専攻)  
一定なリズムは知覚時間が長い: 心理物理学的研究

SPLYZA 賞：

鈴木啓央 (龍谷大学)  
ボードスポーツからみた学習ダイナミクスの機序の解明

はまぞう賞：

鈴木睦代 (工学専攻事業開発マネジメントコース)，山口剛 (静岡県立浜松工業高校)，  
杉本等 (事業創成大学院大学)，鈴木康之 (学術院工学領域)  
未来のアスリートを食育で価値化するアプリ「部活 Do!食べる部」の研究開発

太田賞：

池田祥之 (情報学専攻)，大島純，大島律子 (学術院情報学領域)  
協調活動におけるアイデア評価と有望性

---

**主催：**

静岡大学情報学部 情報学研究推進室

科研費基盤研究(A)「変動性判断の神経機序—変動ある環境を克服する脳の仕組みの探究—」  
(16H01866)

**共催：**

浜松市

**後援：**

静岡新聞社・静岡放送  
中日新聞東海本社  
NHK 静岡放送局

**協賛：**

株式会社はまぞう (<https://hamazo.co.jp/>)  
株式会社たこまん  
株式会社 ANseeN  
サイエンスカフェ in はままつ

**情報学シンポジウム 2018 実行委員会：**

<企画・実行委員> 大木 哲史, 木谷 友哉, 近藤 真(顧問), 宮崎 真(委員長)  
<学生運営委員> 上田 誠也, 金長 幸希, しずっぴー, 宮城 拓弥, 吉岡 大貴  
<事務局> 榎本 希, 本村 恵